

お客様各位

検体採取容器変更のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、下記の項目におきまして、検体採取容器および抽出方法の一部を変更させていただきますのでご案内申し上げます。




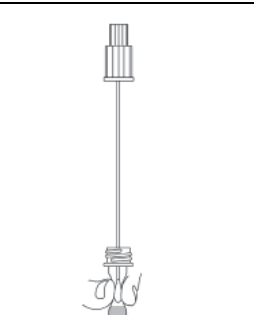
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《変更日》 現行容器の在庫がなくなり次第順次

《変更内容》

総合 検査案内	検査 コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.35 P.175	0137	子宮頸管粘液中顆粒球 エラストーゼ	容器 (Q17)		
P.35 P.131			抽出方法 (一部)		

検体抽出液がしみ込んだ綿棒を、抽出容器壁面に軽く押しつけて、抽出液が滴らない程度にした後、取り除きます。

綿棒に浸み込んだ検体抽出液を抽出容器ごと指で押しつぶす等して絞り出した後、綿棒を取り除きます。

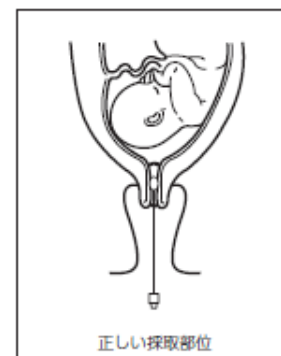
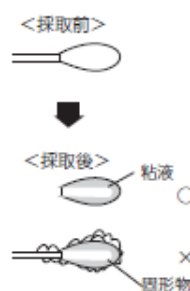
※ 容器については線で囲った「綿棒容器」が変更になります。その他の内容に変更はございません。

《変更理由》 製造販売会社（三和化学研究所）における変更

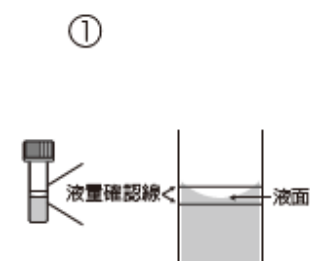
子宮頸管粘液中顆粒球エラストラーゼ (Q17)

採取方法

- ①検体採取は膈部洗浄前に行い、子宮頸管部より採取します。
- ②検体採取前に子宮膈部の粘液を綿球で拭い取ります。
- ③綿棒を頸管内（外子宮口周辺の分泌物や粘液に接触しないよう）に挿入し、ゆっくりと2回転程させます。
（1回転あたり約5秒をかけ粘液が綿棒全体に浸み込むように採取します。また、綿棒に少量の固形物が付着した場合は接子等で取り除いてください。）
- ④ゆっくりと綿棒を抜いてください。
- ⑤採取した検体は15分以内に抽出操作を行ってください。



提出方法（抽出方法）



抽出液の液面が、抽出容器の液量確認線の間にあることを確認します。なお、抽出液がキャップ中栓に付着している場合があるので、振り落とした後に液面の確認を行ってください。



頸管粘液（滲出液）を採取した綿棒を浸けて、2～3分間放置します。



綿棒を20～30回細かく上下させて検体を抽出します。



検体抽出液がしみ込んだ綿棒を、抽出容器壁面に軽く押しつけて、抽出液が滴らない程度にした後、取り除きます。



フィルターをセットします。



検体抽出液を検体保存容器へ濾過します。この時の加圧は1回のみとし、5～7滴（約300μL）を分取します。必要量を得られない場合は検体採取からやり直してください。



検体保存容器にキャップをし、容器ラベルを貼って保存します。凍結にてご提出ください。